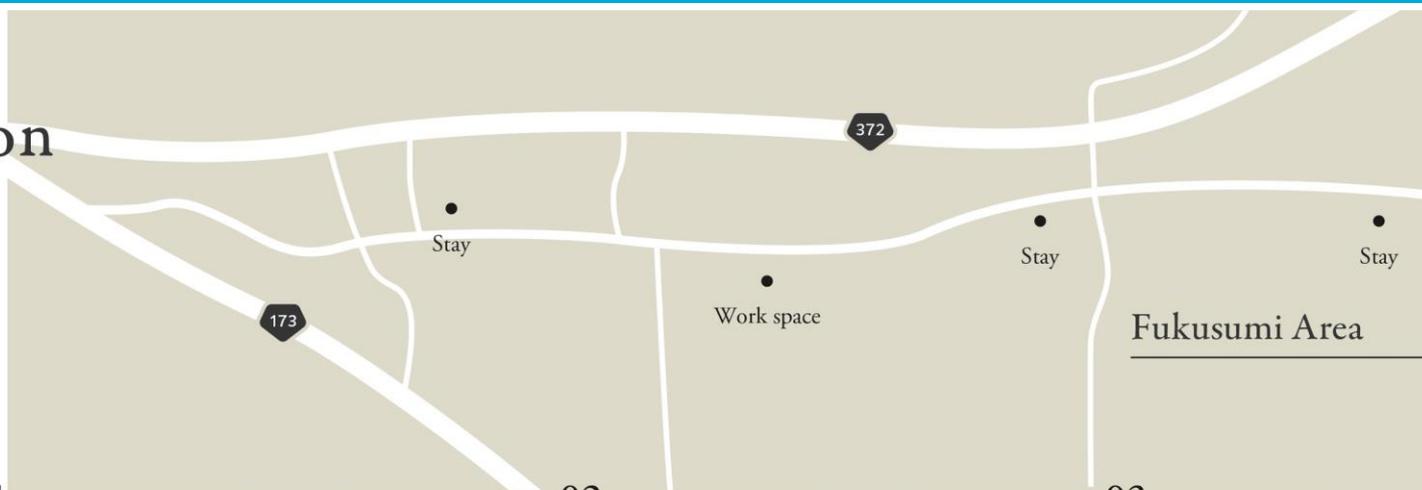


兵庫県丹波篠山市福住地域で、増加する複数の空き家群を活用・整備し、2拠点居住・リモートワーカーを呼び込むためのモデル計画・モニター企画を行なった。結果として①地域の空き家を管理する中間組織設立の準備が整い②空き家を2軒改修、5グループが滞在できる拠点が整備され③都市部の若手人材とモニターツアーを行い、魅力的なワーケーション滞在に向けた事業計画を作成、R5年兵庫県丹波県民局と連携し推進していく事となった。

**■ 事業概要**

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	兵庫県丹波篠山市福住
背景・課題	2011年よりまちで空き家と移住開業社のマッチングに取り組む。約30件の移住者が開業。 課題1：空き家と移住開業希望者が偶発的に現れ mismatch する 課題2：1軒に滞在するワーケーション計画では、空き家活用が一軒に留まる 課題3：2拠点居住や関係人口に繋げるため、地域との接点やビジネス課題に触れる場が必要
目的	1.空き家発生と、空き家利用者のニーズ出現の「時差」を解消する 2.オフィス空間と居住空間を別離させ、まちに発生する複数の空き家群を活用 3.ワーケーションで地域に触れることで「ナリワイ」をつくり、移住後の仕事に繋げる場
連携する団体・役割	【兵庫県丹波県民局】【丹波篠山市】 移住促進事業連携及び、移住者向け住宅改修費補助  【福住地区まちづくり協議会】 移住定住促進事業推進  【公益財団法人兵庫丹波の森研究所】 福住地区移住定住促進構想への研究協力・会議サポート  【NTT 若手有志グループ O-den】 ワーケーションビレッジモニターへの参加、プログラムの検討

# Workcation Village



## 取組内容

01

地域不動産設立→移住定住の流れを作る  
「ワーケーションビレッジ」としての  
空き家利活用モデル構築、実証プロセスまとめ

- ・モデル構築、実証プロセスまとめ
- ・モデルとなる空き家の改修  
地域不動産設立



02

地域課題を共に解決する  
ワーケーションプログラムの造成

- ・6回のモニター
- ・利用時の課題抽出
- ・課題解決プロセスの可視化



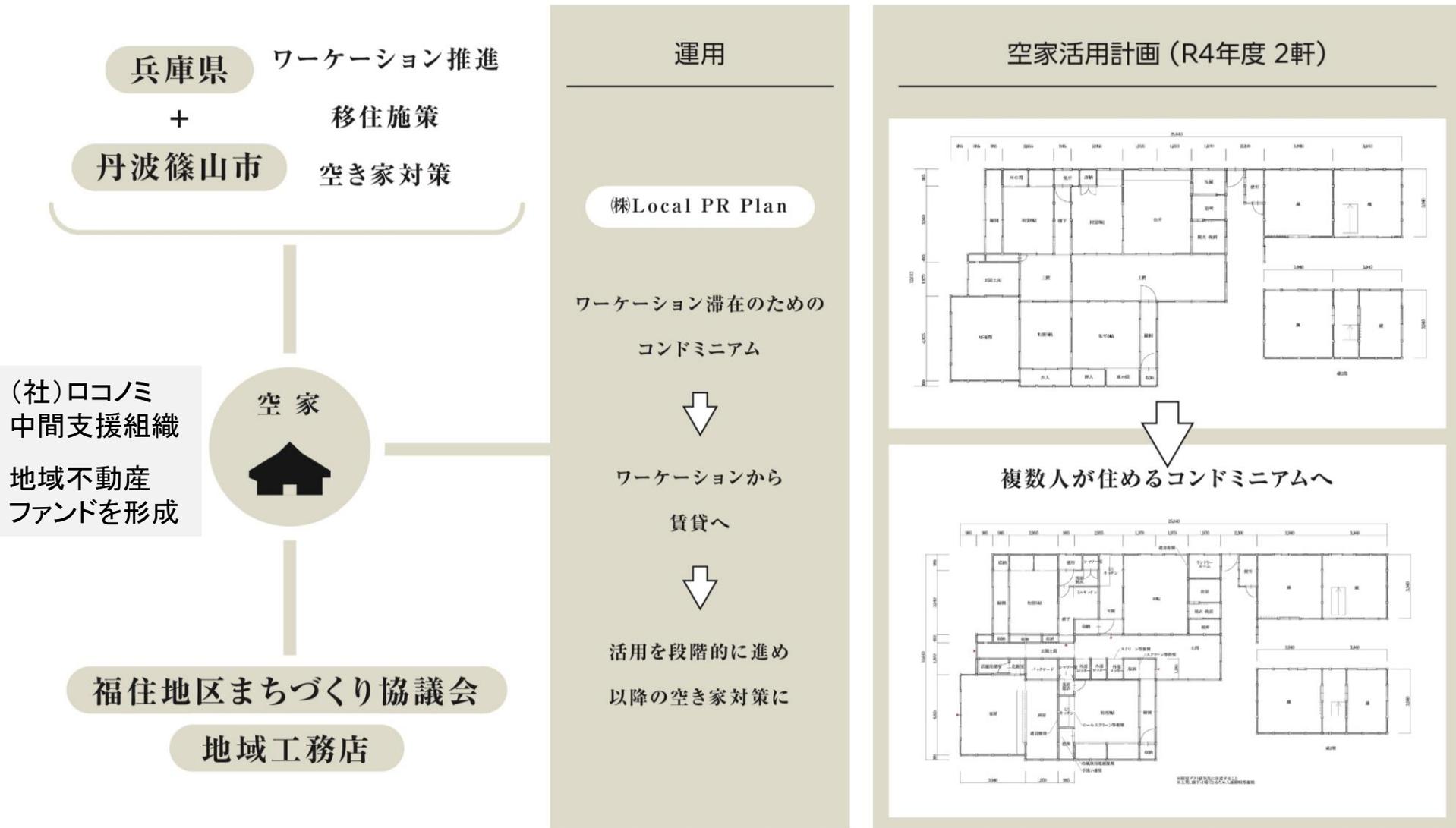
03

広報ツールの作成

- ・WEBサイト作成
- ・パンフレット作成

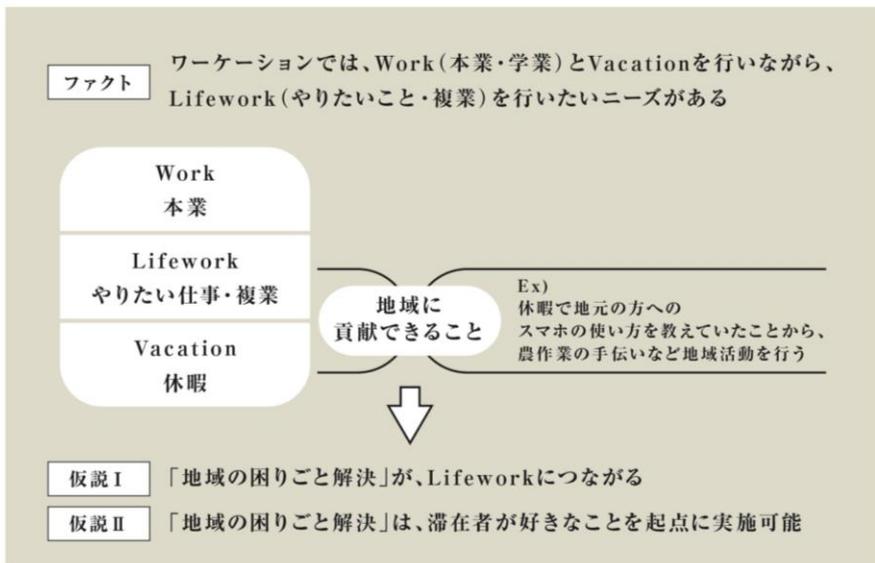


01 | 「ワーケーションビレッジ」としての空き家利活用モデル構築



## 02 | 地域課題を解決するワーケーションプログラムの造成

### 仮説立案「地域の困りごとと解決ワーケーション」

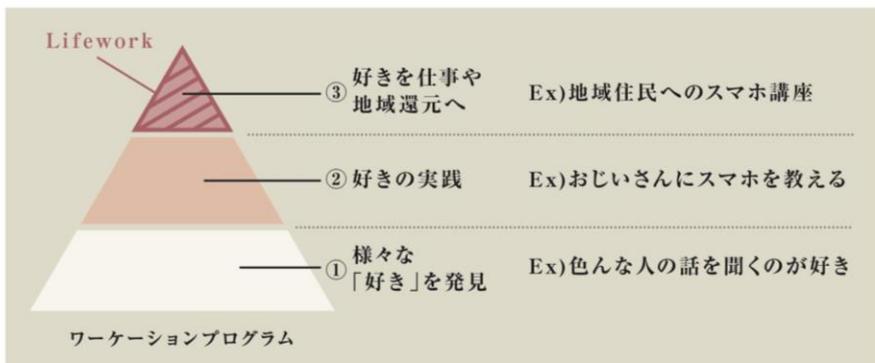


### 活動計画 モニターとして、プログラムを実践することで、仮説I・IIを検証する



### 仮説に沿ったプログラムの構成

#### 仮説に沿ったプログラムの構成



## 02 | 地域課題を解決するワーケーションプログラムの造成

合計31名が参加

### phase 1 「始動カ」

- 1 同じ思いを抱いたメンバーが集まる  
「地域×空き家」に興味あり!!  
古民家には仕事場、開業のチャンスがある
- 2 ライフワーク要素を取り入れたワーケーションの仕方を考えた  
work 仕事 × vacation 休暇 × stay アドベンチャー
- 3 早速みんなとワーケーションへの思いを共有  
理想 理想の暮らし、理想の働き方、理想の地域  
現実 現実の暮らし、現実の働き方、現実の地域
- 4 ライフワーク要素の困り事解決に貢献してみたい!!  
↑ 生活者 ↓  
↑ ライフワーク ↓  
↑ 地域 ↓

### phase 2 「仮説とアクション」

- 1 福祉的困り事解決へのステップ  
「仮説」  
「福祉的困り事」を発見  
「地域」の「空き」を発見
- 2 福祉ラボがモデルになり、仮説を検証しよう!  
「地域」の「空き」を発見
- 3 さっそく福祉住人へ呼びかけ、女子学生を見つけてみた
- 4 次に、福祉的困り事を考えた  
「行きたい」「泊りたい」「住みたい」

### phase 3 「実証」

- 1 福祉に実際にヒアリングしてみた  
QUESTION  
困りごとは何ですか?  
福祉的困りごと関係者 9名
- 2 困り事の規模が大きいほど解決方法がわかるかも!!  
軽作業放棄地  
モビリティ  
不明な設置
- 3 各福祉に関わる関係者のアドバイスをもらう  
ココを乗り越えてみよう!  
解決しやすい困り事  
難易度  
時間
- 4 新しくヒアリングシートを作成  
ヒアリングシート  
困りごと  
解決方法  
備考

### phase 4 「課題とこれから」

- 1 新しくシートを僕と再ヒアリング
- 2 デモやモデル、困り事ヒアリングは面白い...  
problem  
① 困り事の数不足 ② プログラム化難しい
- 3 次からはこうしてみたい!!  
困りごとを再ヒアリング  
解決方法を再ヒアリング  
困りごとを再ヒアリング  
解決方法を再ヒアリング
- 4 さて、こんな未来を描きたい!!  
困りごとを再ヒアリング  
解決方法を再ヒアリング  
困りごとを再ヒアリング  
解決方法を再ヒアリング

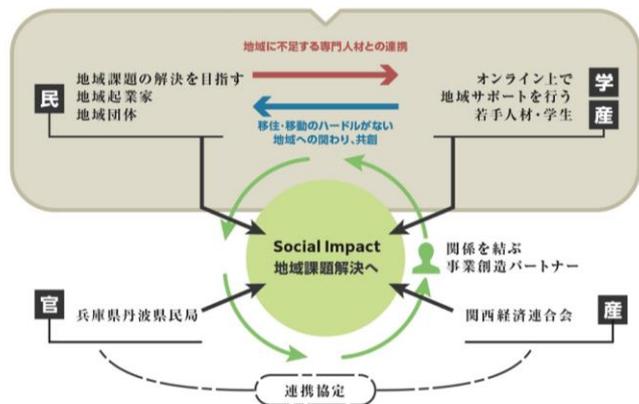
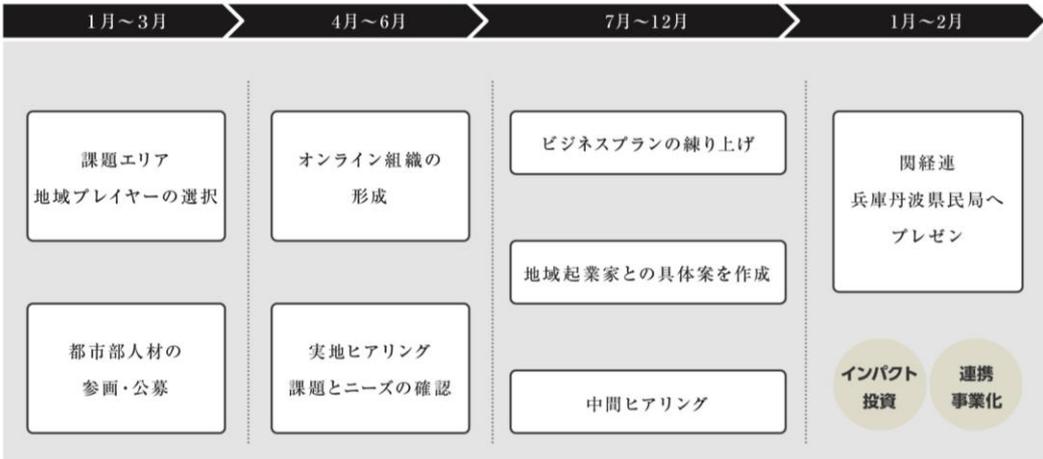
プログラム検証結果、短期滞在期間で現実的に課題解決まで協働することは厳しいと結論

オンラインで離れていても情報交換しつつ、地域の事業家を軸に新しい事業を構築していくことが望ましい

Online Communication をベースに  
ワーケーションも活用し、新しい事業を構想する

2023年

2024年



## 03 | 広報ツールの作成

### パンフレット



### Webサイト



### 取り組みステップと中長期目標

取り組みステップ / 空き家ステージ	通常期 予備軍が 存在	予備期 顕在化	空き家 改修工事 活用
実施			4. 賃貸物件として活用 関係人口増 定住促進へ
提案 対策			3. ワーケーション ビレッジとして活用 改修工事
相談 対応		2. 空き家の顕在化 購入、賃貸、使途の確認	
対応 準備	1. ワーケーション企画の推進 利用滞在者の増加 定住希望者の獲得		

目標	R4	R7	R9
空き家改修 (累計)	2軒	10軒	15軒
利用人数/年	40名	500名	1000名
移住人数 (累計)	0名	10名	30名

モニターのみ